
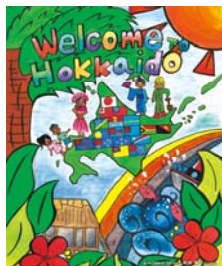






## 〔3〕 事前広報・歓迎機運の醸成

### 1 各種広報活動

太平洋・島サミットの開催周知を図るとともに、オール北海道による歓迎機運を盛り上げるため、様々な広報活動を展開した。

#### 【広報活動の概要】

	項目	内 容	
1	のぼり	設置期間:平成 21 年 2 月 11 日～5 月 23 日 設置箇所:道庁本庁舎1階 本 数:4本	
2	横断幕	設置期間:平成 21 年2月 27 日～5月 23 日 設置箇所:道庁本庁舎玄関	
3	ポスター ①(知事メッセージ入り)	掲出期間:平成 21 年2月～5月 23 日 掲出箇所:公共機関、JR、空港、道の駅等 枚 数:500 枚	
4	ポスター ②(原画コンテスト最優秀作品)	掲出期間:平成 21 年2月～5月 23 日 掲出箇所:公共機関、JR、空港、道の駅等 枚 数:500 枚	
5	広報グッズ「ファイル de バッグ」の作成	内 容:太平洋諸島地域の国・地域の地図や人口、面積などの情報を盛り込んだファイル 枚 数:2,000 枚 配 布:歓迎事業等参加者、ポスターコンテスト応募者等	

	項目	内 容
6	チラシ	<p>配布時期:平成 21 年2月4日(カウントダウン モニュメント除幕式)、2月 11 日 (100 日前記念イベント) 配布場所:道庁赤レンガ前庭、さっぽろ雪まつり 札幌大通公園会場、 配布枚数:各 500 枚</p> 
7	広報紙	広報紙「ほっかいどう」1月号、3月号、5月号にサミット・プレスを掲載。
8	テレビ	道の広報番組「ウィークリー赤レンガ」の活用や特別番組など合計7回放映。
9	ラジオ	スポットCMや札幌市内地域FMなど合計 15 回放送。
10	新聞	道の新聞紙面利用広告「みなさんの赤れんが」に合計 16 回掲載。
11	メールマガジン	道のメールマガジンを活用した情報発信を合計 5 回実施。
12	ホームページ	太平洋の国・地域の概要や道と地元の取組状況を随時に発信。
13	道政広報コーナー	<p>展示期間:平成 21 年 5 月 11 日 ～5 月 22 日 展示内容:太平洋の国・地域の概要、地図の ほか、子ども向けのQ&amp;A「島サミットってなあに?」、ポスター原画 コンテストの概要や、占冠村が作 成したポスターやフラッグなどを 展示。</p> 
14	中吊り広告	<p>JR車内での掲出 掲出箇所:普通列車(札幌圏、室蘭・苫小牧圏、帯広・釧路圏、旭川圏) 掲出期間:平成 21 年 5 月 7 日 ～5 月 21 日</p> 

	項目	内容
15	懸垂幕の設置(上川支庁)	<p>掲出期間:平成 21 年2月 13 日 ～5月 23 日</p> <p>掲出箇所:上川合同庁舎、富良野文化会館、上富良野町役場、中富良野町役場、南富良野町役場</p>  <p>懸垂幕を作成した道立旭川高等専門学院の皆さん</p>  <p>懸垂幕(中富良野町役場)</p>  <p>懸垂幕(上富良野町役場)</p>  <p>懸垂幕(富良野文化会館)</p>  <p>懸垂幕(上川合同庁舎)</p>  <p>懸垂幕(南富良野町役場)</p>  <p>横断幕(道の駅「あさひかわ」)</p>
16	カウンタダウンボードの設置(上川支庁)	<p>設置箇所:上川支庁大雪カムイインタラホール</p> <p>設置期間:平成 21 年2月 13 日～5月 23 日</p>  <p>カウンタダウンボード(上川合同庁舎)</p>
17	公用車を活用した広報(上川支庁)	<p>上川支庁等公用車への太平洋・島サミット啓発用マグネットシート貼付</p> <p>掲出期間:平成 21 年3月 30 日 ～5月 23 日</p>   <p>300mm×500mm</p>



	協力企業	内 容
4	札幌駅総合開発株式会社	JR タワーオフィスプラザさっぽろ街頭ビジョンを活用による開催周知。 期間:平成 21 年4月 16 日～5月 22 日 
5	北海道空港株式会社	新千歳空港ターミナル内でのポスターの掲出。 期間:平成 21 年 3 月 17 日～5 月 21 日
6	帯広空港ターミナルビル株式会社	ターミナルビル内でのポスター・横断幕の掲出。 期間:平成 21 年 3 月 17 日～5 月 23 日  
7	旭川空港ビル株式会社	旭川空港ターミナルビル内に横断幕を掲出。 期間:平成 21 年 3 月 10 日～5 月 23 日 
8	株式会社セイコーマート	① 道内店舗の店内放送による開催周知。(940 店) 期間:平成 21 年 4 月 13 日～19 日、5 月 11 日～17 日
		② ポスター原画コンテストの募集広報。 期間:平成 21 年 2 月 9 日～15 日、3 月 2 日～8 日
9	株式会社セブン-イレブン・ジャパン	レシート余白の活用による開催周知。 期間:平成 21 年 4 月 1 日～4 月 30 日 
10	株式会社北海道新聞社	① 道新小学生新聞に太平洋・島サミットの特集記事を掲載。 掲載日:平成 21 年 5 月 16 日
		② 街頭大型ビジョンによる周知。 掲出内容:ポスター原画コンテスト及び開催周知 掲出箇所:すすきの交差点及び JR札幌駅東西改札口 掲出期間:平成 21 年 2 月 20 日～3 月 5 日、3 月 20 日～4 月 2 日、4 月 3 日～4 月 16 日、5 月 1 日～5 月 14 日 
11	株式会社ヨミックス	街頭大型ビジョンによる周知。 掲出内容:100 日前記念事業、ポスター原画コンテスト、開催周知 掲出箇所:北海道銀行札幌駅前支店及び4丁目プラザ 掲出期間:平成 21 年 1 月 31 日～2 月 6 日、3 月 7 日～3 月 13 日、5 月 9 日～5 月 22 日

### 3 機運醸成

#### (1) 地元関係者との意見交換会

太平洋・島サミットの開催決定を受けて、高橋知事が、首脳会議や晩餐会の会場として有力視されているホテルなどを視察するとともに、会議の成功に向けて、占冠村村長をはじめとする地元関係者と意見交換を行った。

- ・日 時:平成 20 年 12 月 17 日
- ・場 所:占冠村トナム
- ・出席者:高橋知事、小林占冠村村長、鈴木占冠村議会議長、夏井占冠商工会会長ほか



地元関係者との意見交換会



視察後の記者会見

#### (2) キャッチコピーの作成

太平洋・島サミットの本道開催を幅広く周知し、オール北海道による歓迎機運の盛り上げを図るため、本サミットの北海道開催をイメージしたキャッチコピーを作成することとした。道庁国際課の若手職員が中心となってキャッチコピーの検討を進め、最終的に、道民のおもてなしの心と、太平洋諸島地域の今後のあり方を検討する国際会議にふさわしい表現を盛り込むということで、『北の笑顔がお迎えます。ようこそ、パシフィックアイランズ。北海道で描く島の未来図』と決定した。平成 21 年 1 月 30 日の知事定例記者会見で発表し、開催までの間、ポスターや横断幕、のぼり、チラシなどに活用した。



平成 21 年 1 月 30 日知事記者会見

### (3) カウントダウンモニュメント除幕式

本サミットの歓迎機運を盛り上げるため、道と包括連携協定を締結しているサッポロビール株式会社北海道本社の協力により、道庁赤れんが庁舎前庭に、カウントダウンモニュメントを設置することとし、その除幕式を関係者列席の上、実施した。

- ・日 時 平成 21 年 2 月 4 日 12:00~12:10
- ・場 所 赤れんが庁舎前庭
- ・出席者 高橋知事、鈴木占冠村村議会議長（太平洋・島サミット占冠村住民会議副会長）戸田サッポロビール（株）北海道本社代表
- ・協 力 サッポロビール株式会社北海道本社



カウントダウンモニュメント  
除幕式

### (4) 地域のイベントを活用したPR(上川支庁)

冬に開催された地域のイベントの場を活用し、太平洋・島サミットの占冠村開催についてPRを行った。

#### ○ふらのスノーフェスティバル

- ・期間:平成 21 年 2 月 7 日(土)
- ・場所:富良野スキー場北の峰ゾーン特設会場
- ・主催:ふらのスノーフェスティバル実行委員会



#### ○かみふらの雪まつり

- ・期間:平成 21 年 2 月 8 日(日)
- ・場所:上富良野町日の出公園特設会場
- ・主催:かみふらの雪まつり運営委員会



#### ○かなやま湖上ばかす

- ・期間:平成 21 年 2 月 15 日(日)
- ・場所:南富良野町かなやま湖上特設会場
- ・主催:南富良野町商工会青年部



## (5) 太平洋・島サミット 100 日前記念イベント

太平洋・島サミットの開催周知を図るとともに、歓迎機運を高めるため、サッポロビール株式会社北海道本社の協力により、本サミット開催の 100 日前にあたる平成 21 年 2 月 11 日に、多くの観光客でにぎわう「さっぽろ雪まつり会場」において、占冠村と合同で PR イベントを実施した。

アルファリゾート・トマムのスタッフを中心とする YOSAKOI ソーランチーム「トマム寒神祭<sup>かんじんさい</sup>」のメンバー 9 名による躍動感あふれる演舞の後、来場者約 100 名が参加してクイズ大会が行われた。

「〇×方式」によるクイズ大会では、「世界で最も早く 1 日が始まるのは、“キリバス共和国”である」「占冠村の名前の由来、アイヌ語“シモカブ”は“静かで平和な川の上流”という意味である」といった、太平洋の国・地域や占冠村に関するクイズが出題され、優勝者など入賞者には、高橋知事と小林占冠村長から、ホテル宿泊券や占冠村特産の山菜詰め合わせセットが贈られた。

- ・日時:平成 21 年 2 月 11 日 12 時～12 時 25 分
- ・場所:さっぽろ雪まつり大通会場「北海道 食の広場」
- ・共催:太平洋・島サミット占冠村住民会議
- ・協賛:サッポロビール株式会社北海道本社



さっぽろ雪まつり大通会場「北海道 食の広場」特設ステージ



「トマム寒神祭」による演舞



優勝者へのプレゼント贈呈



## (6) 太平洋・島サミットポスター原画コンテスト

太平洋・島サミットの開催機運の盛り上げを図るとともに、次代を担う北海道の子ども達に太平洋諸島地域に関心を持ってもらうことを目的として、ポスター原画コンテストを実施した。最優秀作品については、道が作成する広報用ポスターの原画として採用した。

### ① 募集概要

- ・テーマ：太平洋の島国と北海道
  - ・募集期間：平成21年1月30日～3月17日
  - ・応募資格：道内在住の小学生から大学生（専門学校生を含む。）
  - ・応募規定：サイズB2、B3、B4判のいずれも可。画材・画法は自由
- 募集は、北海道教育委員会と連携を図りながら、学校等に周知を図ったほか、ホームページにおいてもPRを行った。さらに北海道造形教育連盟や札幌市造形教育連盟には、本コンテストに理解をいただき、美術担当教諭の皆様にも協力要請をしていただくなど、関係者の協力により、短期間の募集にもかかわらず総数766点の応募結果となった。

審査は、デザインや技術、プロトコールなどの観点からの審査が必要となることから、それぞれの分野に精通されている方々に審査委員となっていただき、審査会を実施した。

### ② 審査概要

- ・審査月日：平成21年3月17日
- ・審査場所：道庁別館会議室
- ・審査委員会：

区分	氏名	所属・役職
委員長	村瀬 千 樫	北海道造形教育連盟顧問
委員	後 藤 精 二	北海道デザイン協議会副会長
委員	筧 克 彦	国際協力機構札幌国際センター所長
委員	小 林 豊	占冠村村長
委員	細 川 俊 朗	北海道経済連合会経済産業部次長
委員	篠 原 正 行	北海道知事政策部知事室国際課参事

(役職は平成21年3月17日現在、敬称略)

- ・審査結果：「太平洋の島々の理解度」「デザインの斬新性」「ポスター作成の実用性」の観点から審査した結果、以下のとおり最優秀賞と優秀賞を選出するとともに、佳作14点を決定した。

区 分	入 賞 者 (※平成21年3月現在の学年)
最優秀賞	阿部 舞子さん(旭川市/小学5年生)
優秀賞	山崎 由佳さん(札幌市/専門学校1年生)
優秀賞(小学校の部)	加藤 優弥さん(札幌市/小学2年生)
優秀賞(中学校の部)	森田 麻椰さん(旭川市/中学1年生)
優秀賞(高校の部)	小野穂奈美さん(札幌市/高校2年生)
優秀賞(大学等の部)	戸沢 逸美さん(岩見沢市/大学2年生)

## ・ 総 評

本ポスター原画コンテストは、平成21年5月に北海道で初めて開催される「太平洋・島サミット」の開催機運を盛り上げるため、次世代を担う道内の子どもたちを対象に、太平洋の島国と北海道の関係をテーマとして募集したものである。

初めての試みにもかかわらず、道内の小学校低学年から大学生まで幅広い層から766点の応募があり、道内の子どもたちに太平洋の島国に関心を持ってもらうという目的からも、意義のあるコンテストであったとすることができる。

作品の選考にあっては、北海道にとってあまり馴染みのない太平洋諸島の国々を子どもたちがどのように表現するのかという点や、ポスターとしてのデザインの斬新性、ポスター作成の実用性などをポイントに審査を行った。

島サミットの開催周知に力点をおいた作品、島サミットを通じて地球環境の問題を訴える作品、島国の特色をリアルに表現した作品など、情報が少ないにもかかわらず、幅広く様々な視点から自分たちの考えを表現した作品が多く見受けられた。

また、子どもらしくユーモアあふれる作品、プロ顔負けの繊細な作品、「おもてなし」が表現された心暖まる作品など、様々な工夫が感じられ、選考にあたっては和やかな雰囲気の中で審査を行うことができた。

今回、応募された子どもたちの健闘を審査員一同、心から讃えるとともにご協力いただいた教育関係者や保護者の皆様に感謝を申し上げたい。

最優秀賞に選ばれた作品は、今後、ポスターとして道内各地に掲示されることになるが、それを見た多くの方々が、太平洋・島サミットを身近な話題として、また、北海道を訪れる首脳等を「おもてなしの心」でお迎えする機運醸成の一助になれば幸いである。

### ③ ポスター原画展

本サミット開催 1 か月前を記念して、太平洋島サミットポスター原画コンテスト作品展を開催した。

- ・ 開催期間：平成21年4月20日  
～4月24日
- ・ 開催場所：道庁1階道政広報コーナー
- ・ 展示作品：最優秀作品、優秀作品ほか  
80 作品



ポスター原画展風景

### ④ 表彰式

太平洋・島サミット終了後、5月23日16時45分から、アルファリゾート・トマムのザ・タワー1階「アザリア」で表彰式が行われ、村瀬審査委員長の立会いのもと、高橋知事から最優秀賞と優秀賞の入賞者に表彰状が手渡された。



表彰式記念撮影



表彰式（最優秀賞）

## 4 講演会・シンポジウム

### (1) 太平洋・島サミットフォーラム in 占冠

平成21年2月23日、太平洋・島サミット占冠村住民会議の主催により、占冠村コミュニティ・プラザにおいて、「太平洋・島サミットフォーラム in 占冠」が開催された。フォーラムには、約90名の村民が参加し、ジョン・フリッツ駐日ミクロネシア連邦特命全権大使と外務省の岩間大洋州課長から講演があった。



フリッツ大使の講演



村民手づくりのアイスキャンドル

講演会場では、村観光協会を中心とした村民が用意したアイスキャンドル約500個が講師を出迎え、北国ならではの工夫を凝らした心温まる演出に、フリッツ大使も大変満足されていた。

### (2) 太平洋・島サミット講演会

平成21年2月24日、道内の行政関係者や国際化関係者を対象に、太平洋諸島の国・地域への理解を促進し、本サミットの歓迎機運の盛り上げを図るため、講演会を札幌市内で開催した。

外務省の岩間大洋州課長が、「太平洋諸島の国々の現状・課題と日本の役割について」と題して講演を行った。

会場からは、本サミットが本道で開催されることとなった決め手について質問がだされるなど、100名を超える参加者が熱心に講演を聴き入っていた。



岩間大洋州課長の講演

### (3) 第5回太平洋・島サミットシンポジウム in 帯広

平成21年3月26日、帯広市役所において、外務省主催のシンポジウムが開催された。

講演には、マーシャル諸島共和国のキノ・カブア外務次官、小林大阪学院大学大学院国際学研究科教授（太平洋島嶼国支援検討委員会座長）、外務省の岩間大洋州課長がパネリストとして出席し、十勝支庁管内の行政関係者や帯広市民など約100名が参加した。



カプア・マーシャル諸島共和国外務次官

砂川帯広市長の挨拶に続き、小林教授からは、太平洋の国・地域が日本にとって重要な地域であることや、日本の国民全体でこれらの地域への支援を盛り上げていくべきことなどについて講演があった。

また、カプア次官からは、本サミットが日本との関係強化を協議する有益な機会であることや、日本が島嶼国のみならず世界の経済発展や教育向上などに主導的な役割を果たすことを期待していることなどについての講演があった。

#### (4) 『太平洋・島サミット』ふれあいトーク

平成21年5月6日、橋本外務副大臣と高橋知事による「『太平洋・島サミット』ふれあいトーク」を札幌市内で開催した。

ゴールデンウィークの最終日にもかかわらず、定員200名の会場はほぼ満席の状態だった。

トークは、最初に、太平洋・島サミットの概要や目的、本道で開催する意義などについて、橋本外務副大臣から説明があった。さらに、外務副大臣がキリバス訪問の際の話などを交えた「太平洋諸島地域の現状」についてスライド映像を使いながら説明があった。

高橋知事からは、国際会議の開催を通じた「北海道の魅力の海外への発信」について説明があった。さらに、サミット開催地である占冠村から、小林村長や鈴木村議会議長などが出席され、地元の意気込みなどについて発言があった。

最後には、橋本外務副大臣と高橋知事から、本サミットに向けた決意が語られ、橋本副大臣からは、北海道が誇る農産物、環境資源などの魅力や技術を各国の方々を持ち帰ってもらいたいこと、高橋知事からは、G8サミットの経験を活かし、おもてなしの心で来訪者に対応することなどについて抱負が語られ、ふれあいトークを終了した。



札幌市内での「ふれあいトーク」(上下)

